



2023 年 7 月
No. 457 号



MORIMATSU NEWS

転職フェアに参加しました

RECRUIT

最近の採用活動はリクナビやマイナビなどのネット媒体での求人を出しておりましたが、今回は対面式の転職フェアに参加してきました！



POINT 01 転職希望者が現職でなにも悩み転職でなにも望むか生の声が聞くことができました！

POINT 02 面接ではないのでぎくばらんに会話ができ、入社後のミスマッチを減らせられる！

POINT 03 スピーディに選考へ進むことができる！

comment ネット媒体では得られない経験をする事ができました！面談者の中から入社してくれる事を期待しています！

新たな期を迎えて

森 直樹 (代表取締役社長)



森松は6月21日より新たな期(森松株では67期)を迎えました。コロナ禍という誰もが経験したことのない期間を経て、また一段階我々の生活、仕事への考え方を考えるほどの大きな出来事でした。そのような変化の波も、長い目で見れば今後もこのコロナ同等か、それ以上の変化の波がやって来ることでしょう。そのような事態に対して、我々は柔軟な発想を持って対峙しなくてはなりません。新しい期の始まりに際して、私の取り組んでいくことを挙げていきます。1.【人材の採用】現在の事業を継続し、維持していくこと。新たな事業・顧客へ取り組んでいくこと。全て人材があって可能なことです。2.【評価制度の策定】明確性、公平性を持つ評価を目指します。3.【教育、育成】これまではその時の状況に合わせた、変動的な教育でしたがプラスチック業界で最低限必要な知識、そして森松で考え方の基盤となる「モーリン語録」について皆が等しく理解してもらうような教育方法を作っていきます。これらの事は、私達がより高いレベルで顧客の要望に応え、信頼される取引先となるために必要です。我々の行動規範となる「モーリン語録」は今の森松を築いた方々の想いが込められています。私はそれを継承し、そしてこれからの時代を進むために再構築していきます。「今・ここ・私」はいかなる時代、社会であっても変わることなく、私達の追求するものとして在り続けます。このように新たな期も、皆さんと共により良い結果が出るよう邁進して行きます。



ハマイチ

安井 浩二 (企画営業部)



昨年、春にエンデュランス系のロードバイクを購入しました。エンデュランス系とは、ロードバイクのジャンルの一つで、特長は、やや太めのタイヤを装着しており、乗車姿勢もロードバイクと比較してアップライトポジションになっています。上体を起こした姿勢になるため同じドロップハンドルでも体の負担、特に背中や腰への負担が軽減されています。スピードこそ劣るものの乗り心地が良く、ロングライド向けのバイクです。さて、先日、ハマイチ（浜名湖一周）にチャレンジしてきました。三ケ日近くの都築海岸からスタート。湖西市方面から南下し浜名湖を左周りで一周するルートです。途中、新居関所跡、弁天島を北上し館山寺温泉へ。そこから細江、寸座を周り都築海岸へゴール。ちょうど 50 km の距離でした。浜名湖はサイクリングスポットだけあって、自転車の道が整備されています。道路にはサイクリングルートを示す矢印や標識がありナビがなくても迷わず走ることができます。また、湖東側は



弁天島駅近くから湖北まで、浜名湖周遊自転車道が設けてあり、ここは自動車も走らず湖岸側をゆっくり走ることができます。この道は自転車ならではの景色が望むことができます。今回は初めて走るルートなのでペース配分が分からなかったため、休憩を控えめに寄り道せずひたすら走り続け、約 3 時間で完走しました。道中には、おしゃれなカフェや美味しそうななぎ屋さん、レジャー施設などたくさん見かけましたので、次回は美味しいものを食べ、観光しながらゆっくり走りたいと思っています。

反面教師

吉岡 孝記 (営業部)



先日、老眼が進み眼鏡が合わなくなった為、新調しようと思いつこのメガネ屋へ行こうか考えた時、テレビCMでレンズを薄型にしても値段が変わらないというメガネ屋チェーン店を思い出し、行ってみようと思いました。私自身かなり視力が悪い為、いつもかなり厚いレンズになってしまい、フレームの選定も限られていました。一番近くに店を捜し、車で約 30 分かけて店に行きました。フレームを選び薄型レンズにしても値段が変わらないことを確認し検眼をしました。女性の店員さんが親切に 20 分程度かけて色々検査していただきました。遠近にしたためレンズ代が 5000 円ほど上がりました、前回作った所は遠近にしても値段が変わりませんでした。レンズが薄型に出来るので了解しました。あとは支払いをして終わりと思いましたが、レンズ担当に代わりますのでとの事で、何か説明があるのかと思いましたが、男性のレンズ担当が来てお客様のレンズはこれになりますと、サンプルを見せて頂くが、びっくりいつもと同じ分厚いレンズでした。どういうことと質問をした所、お客様の視力ですと、屈折率の関係でこれしかできないとの事。納得できずガラスレンズには出来ないかと聞くが扱いが無いとの事、最後にキャンセルしていただいても構いませんがと言われ「カチーン」。ふざけるなどと言ってキャンセルして帰る。時間の無駄でした。なぜ前もって薄型に出来ない場合があることを言ってくれなかったのか、レンズ担当なんてメガネ屋さんで聞いたことが無い。気のいい人だとそのまま購入するかも知れませんね。最近では眼鏡チェーンも増え、メガネの値段も安くなりました。昔は町のメガネ屋さんがほとんどでチェーン店も余りありませんでした。今では『眼鏡市場』『赤札堂』『JINZ』『Zoff』など多数あり、昔ながらの『キクチメガネ』『メガネの三木』『メガネスーパー』なども有り競争が激化しています。眼鏡人口は 7000 万とか 7500 万人と言われ二人に一人は眼鏡をかけている計算になるそうです。これからもますます競争が激化するかもしれません。すでに違うメガネ屋さんでメガネを作りましたが、取り寄せたレンズに傷があったとの事で、納期が遅れることを連絡いただく。悪い情報程早く、的確に伝えることが大事だと痛感しました。中々できていないので肝に銘じます。商品力も大事ですが、人間力も大事だなと思いました。

食品ロスをなくすキッチンの5S

河嶋 桂子（東京オフィス）



「5S」とは、職場環境の改善方法として取り入れられている手法で、「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の頭文字から名付けられていますが、今、問題となっている食品ロスをなくすために、キッチンでも取り入れてみると良いと思っています。皆さんは食べ切れなかったり使い切れずに捨ててしまう食べ物は、どれくらいあるのでしょうか？日本では、食べられるのに廃棄される食べ物「食品ロス」が、年間600万トンを超え、その約半数は、家庭から出ているそうです。少し驚きました。家庭から出る量を1人当たりに換算すると、年間51kg、1日約140gご飯にするとお茶碗1杯くらいを捨てていることになるそうです。それを金額で試算すると、夫婦のみの世帯なら毎月約4,000円、4人家族なら毎月約8,000円を食品ロスとして廃棄している、というイメージになります。意外とあなどれない金額ですね。食品を廃棄した理由のトップは、「食べ残し」で57%、次いで「傷んでいた」、「賞味期限切れ」などです。「腹八分目」を意識して、今より若干、買う量や作る量を減らしてみる、というのが出来たら理想ですが、特価品やワゴンセールなどを見かけるとつい買ってしまふなどというのは極力避けて、本当に食べ切れるかどうかを冷静に判断出来たらと思います。食品ロスを減らす方法として、「買いすぎない」「作りすぎない」ことが大切ですが、家族の協力も不可欠です。例えばせっかく夕食を適量作ったとしても、残業や飲み会等で急に夕食を食べない、などです。家族でのルール作りやスケジュールの共有も大切ですね。家族の帰宅が遅くなる可能性がある日は、アレンジできるメニューにするのも良いです。さて、本題のキッチン（冷蔵庫やパントリー）の「5S」ですが、こんな感じです。【整理】要らない物を捨てる。賞味（消費）期限切れで食べられない物は、「今回はごめんなさい」と廃棄する。「期限が近い・保存から日数が経っている物」は手前に置いて優先的に使う。【整頓】必要な物を出しやすく配置し、ジャンルごとに置き場所を決め、家族みんながどこに何があるか分かるようにする。【清掃】冷蔵庫やパントリーの中を清掃するだけでなく、期限の近い物は残っていないか、中途半端に残った食材はないかどうかを常にチェックする。【清潔】上記3S（整理・整頓・清掃）を維持し、週末や月末などに定期的にチェックする。【躰】（習慣づけ）維持するために決めた事を家族みんなが習慣づける。以上のキッチン「5S」は環境へも優しい取り組みになりますので、出来る範囲で心掛けていきたいと思っています。

サイクリング

鶴見 雅人（製造部）



森松産業に入社して早半年、初の寄稿になります。よろしくお願ひします。2023年2月の波紋で自己紹介を少し書かせていただきましたが、趣味の「サイクリング」について少し深堀りをさせていただけたらと思います。サイクリングを始めたきっかけは父親と自転車で出かけるところから始まります。小学高学年の頃になりますが、最初の行先は「養老の滝」。次に行ったのは「香嵐渓」。どちらも行ったことは覚えていても「とにかく辛かった!」という印象しか残っておらず、あまり思い出らしい思い出がありません。ただ、自転車に乗っていること自体は嫌いではなかったため、そのままなんとなくただ乗り続け、高校時代は自転車通学。社会人になっても自転車通勤しています。直近で遠出したところは、花見シーズンに岡崎公園付近で売られているという「大きな花見団子」なるものを手に入れるべく、岡崎公園に行くという計画を立て、向かうも買えず。何か物足りなさを感じ、岡崎公園を出てすぐにある道路標識に書いてあった「国道1号 豊橋 豊川方面」が見え何を思ったわけでもなく「そうだ豊橋にいこう」と思い、豊橋駅まで自転車で向いました。そして、何をしたわけでもなく「自宅から豊橋までサイクリングをした」という私自身としてはなんとも味気のないサイクリング内容になってしまいました。しかし、道すがら様々な発見があったので、私自身としては非常に有意義な一日だったと思っています。将来的には東京まで自転車で往復なんてこともできたらな、と思ったりしています。今は基礎体力の向上を図って長距離乗ってもバテない体を作りたいと思っています。



2つの流星群を同時に見るチャンス!!!!

やぎ座・みずがめ座 流星群



期間：7/3-8/15
極大日：7/30
深夜2時頃
月が沈む頃に月と反対側を見よう



期間：7/12-8/23
極大日：7/31
夜半から夜明け前がピーク



極大日：流星群が最も活動する時期のこと。

花

円道 陽子 (森松産業)



実家の庭には、毎年季節の花が咲きます。花たちの世話をしていた母が亡くなり2年経ちますが、今でも変わらず数種類の花が咲きます。花は仏壇や徒歩1分もかからない寺にあるお墓のお供えに少しでも足しになるように、と祖母や母が育てていました。梅、金木犀、椿は私が子供の頃からあり、今は季節によって水仙、菜の花、グラジオラス、ニオイバンマツリ、シラン、モッコウバラ、アイリスなどが咲きます。また、玄関側はコンクリートなので鉢植えですが、裏庭は土なので祖母がいた頃は、家庭菜園も少ししていました。現在、野菜は育てていません。花は特に手入れできていませんが、季節になると咲いています。いつまで花が咲いてくれるかわかりませんが、母が好きだった花や木を思い出として残すために写真を撮るようにしました。きっかけは母が



亡くなる前、「玄関前の紫陽花に肥料をやってほしい」と頼まれたことです。その後しばらくして、母が亡くなった後きれいに咲いた花を見た時、なぜだかとても寂しくなりました。いつまでこの光景が見られるのかなという思いからです。特に私が育てているわけでもなく、たまに行って見るだけの勝手な願いです。今年も紫陽花がきれいに咲きました。梅の実はどのくらいなったかな…。自然の生命力には感謝です。これからも写真を撮り思い出を残し続けます。そして草取りも。